

新庁舎

— その4 —

新庁舎整備についてシリーズでお伝えしている「シリーズ新庁舎」。今回は、『第1回新庁舎建設町民懇話会』についてお伝えします。

第1回 新庁舎建設町民懇話会

町では、新庁舎に関する幅広い分野の意見を基本設計へ反映させるため、町民の皆さん、各種団体および自治会の代表の方々などで構成する『新庁舎建設町民懇話会』を8月8日（木）に開催しました。

当日は現時点における庁舎の配置案、各フロアのレイアウト案などを提示し、住民目線で気づいた点や、要望などをあげていただきました。

今後は、これら当日の意見や懇話会委員の皆さんから出される意見を集約し、基本設計に反映していきます。



▲懇話会の様子

障がい者用トイレを広くしてほしい

外にはベンチの設置を

懇話会で出された意見

入口にはスロープを

建物内からも外の緑地帯が見えるような工夫を

このほか新庁舎整備の基本的な考えに関する意見もいただきました

- ・少しでも安く町民負担が軽くなるように
- ・町民が利用しやすい庁舎を
- ・将来を見据えた庁舎づくりを

ボーリング調査を行っています

現在、本庁舎東側駐車場において、ボーリング調査を行っています。近隣の皆さんおよび来庁者の皆さんには、機械による騒音などご迷惑をおかけしています。ご理解ご協力をお願いします。

◇ボーリング調査とは？

ボーリング調査とは、地盤や地質を調べるために行う調査です。機械で円筒状の穴を掘り進め、地盤の状況を調べます。

地盤が固くしっかりしていないと、建物を支えきれずに地盤沈下を起こし、建物の傾きや歪みの原因となります。これを防ぐため、この調査で地盤状況を確認し、新庁舎の基礎の大きさや、杭の長さを決めていきます。



※調査時イメージ